

今後の進め方について

第 1 回 5 月 8 日（水）本日

- （１）ロボットを取り巻く環境変化等について（事務局）
- （２）産業用ロボットに関する現状と課題
 - ・ファナック株式会社（榊原技監）
- （３）サービスロボットに関する現状と課題①
 - ・株式会社日本総合研究所（三輪委員）
 - ・SOMPO ホールディングス株式会社（片岡フューチャーラボ インゾジャパン 所長）

（主な論点）

- ① 従来、ロボット市場を担ってきたプレイヤーとは別に、工場全体の最適化やユーザに新たな付加価値を提供するプレイヤーが出現し、新たな市場を切り開きつつある。日本において、このようなプレイヤーの育成について、必要な取組は何か。
- ② AI・IoT 等の革新技术について、ユーザ視点も踏まえつつ取り込んでいくために必要な取組は何か。
- ③ ユーザ等のロボットの開発・普及に必要なエコシステムについては、如何にして形成していくか。 等

第 2 回 5 月 2 1 日（火）

- （１）サービスロボットに関する現状と課題②
 - ・がんこフードサービス株式会社（新村委員）
 - ・トヨタ自動車株式会社（古賀未来創生センター長）
 - ・株式会社小松製作所（四家執行役員・スマートコンストラクション推進本部長）
 - ・三菱地所株式会社（渋谷 DX 推進部統括）

（主な論点）

- ① 従来、ロボット市場を担ってきたプレイヤーとは別に、工場全体の最適化やユーザに新たな付加価値を提供するプレイヤーが出現し、新たな市場を切り開きつつある。日本において、このようなプレイヤーの育成について、必要な取組は何か。
- ② AI・IoT 等の革新技术について、ユーザ視点も踏まえつつ取り込んでいくために必要な取組は何か。
- ③ ユーザ等のロボットの開発・普及に必要なエコシステムについては、如何にして形成していくか。 等

第3回 5月28日（火）

（１）研究開発に関する現状と課題

- ・三菱電機株式会社（小平委員）
- ・立命館大学理工学部ロボティクス学科 川村教授

（２）ロボットの新たな活用領域について

- ・株式会社インディ・アソシエイツ（岡田委員）

（主な論点）

- ① 昨今、アバターロボット等を用いた多様な働き方への対応などが広がりつつあるが、このような新たな使い方について、より広く社会へ実装していくために必要な取組は何か。
- ② 欧米や中国等の研究開発動向も踏まえ、今後、10年先・20年先もロボット分野で日本が世界をリードできる研究開発プロジェクトや人材育成については如何にあるべきか。 等

第4回 6月4日（火）

（１）ロボットの新たな活用領域について

- ・東京大学先端科学技術センター 稲見教授

（２）システムインテグレータの現状と課題

- ・株式会社豊電子工業（成瀬常務取締役）

（３）人材育成に関する現状と課題

- ・独立行政法人国立高等専門学校機構（野口委員）
- ・株式会社バイナス（渡辺委員）

（主な論点）

- ① 従来、ロボット市場を担ってきたプレイヤーとは別に、工場全体の最適化やユーザーに新たな付加価値を提供するプレイヤーが出現し、新たな市場を切り開きつつある。日本において、このようなプレイヤーの育成について、必要な取組は何か。
- ② 欧米や中国等の研究開発動向も踏まえ、今後、10年先・20年先もロボット分野で日本が世界をリードできる研究開発プロジェクトや人材育成については如何にあるべきか。 等

第5回 6月11日（火）

（１）これまでの議論の整理

※予備日（7月3日（水））